

2025 年 11 月 27 日

各 位

会 社 名 D A I K O X T E C H 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 松山 晃一郎
(コード番号：8023 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員コーポレート本部長 CFO 間 渕 剛 志
(T E L : 0 3 - 3 2 6 6 - 8 1 1 1)

IoT デバイスを活用した下水管路内 AI 画像診断の実証実験に関する 四者協定締結のお知らせ

当社は、北海道北斗市、デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社（以下、「DIT 社」といいます。）及び当社の連結子会社である株式会社ディアンド（以下、「D&社」といいます。）と協業し、「IoT デバイスを活用した下水管路内の AI 画像診断技術の実証実験」に関する四者協定を締結いたしましたので、お知らせいたします。

記



1. 本協定締結の経緯及び目的

近年、全国的に上下水道管路の老朽化が深刻化しており、腐食や破損による漏水・陥没被害が社会問題となっています。北海道北斗市においても、整備から長期間を経過した管路が増加しており、破損リスクの把握や限られた人員による効率的な点検・維持管理の実現が求められています。

当社は、IT サービス企業として DX 推進に取り組み、AI・IoT・データ利活用などデジタル技術の高度化を進めてまいりましたが、こうした上下水道管路の老朽化に伴う課題の解決に向けて、北海道北斗市、DIT 社及び D&社と連携し、デジタル技術を活用した実証に取り組むことといたしました。具体的には、浮揚体型 IoT デバイスを用いて下水管内部を撮影し、その画像を AI 技術で自動解析することで、腐食・損傷の早期検知や点検業務の省力化を実現します。これにより、安全性を最優先とする管路マネジメントの確立を目指します。

2. 今後の展望

当社グループの企業理念体系に基づく「五方良し経営」では、地域社会への貢献にも重点をおいています。今回の取組みを通じて、北海道北斗市における DX 推進を支援するとともに、地域経済の活性化にも寄与してまいります。

また、当社グループは、AI や IoT などの先進技術の活用・深化に注力し、効率性や安全性の向上を図る新たなモデルの構築を進めてまいります。こうした取組みにより、新たな価値創出や波及効果を生み出し、持続可能な地域発展の実現を目指します。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

DAIKO XTECH 株式会社

コーポレート本部 IR 担当 TEL : 03-3266-8111

(受付時間：平日 午前 9 時から午後 5 時まで)